



# すぷりんぐ

会報 通算第19号 2019年10月発行

## ごあいさつ

代表 牧野准子



錦秋の候、皆様いかがお過ごしでしょうか。ついこの間まで暑い々と言っていたのですが、今年も後2カ月ほどの暦の薄さとなりました。

さて、光栄なことに令和元年度「北海道福祉のまちづくり賞活動部門」を頂けることになりました。応募の書類を作成しながら改めて顧みて、8年近くに渡りずいぶんとたくさんの活動してきたものと驚きました。その記録の一つ一つに当時、関わって一緒に準備をしたり協力して下さった方々も懐かしく残っていました。苦い思いも楽しい思い出も数えきれないほどありますが、良き経験でした。

長年の自分の経験から、新しいことをする時には自らが率先して動かなくては、人はついてきてくれないと考えて、頑張っただけでまいりました。あれこれ人をお願いしても信頼は生まれません。気が付けばもうすぐ8年。桃栗三年柿八年ですから柿なら実をつける頃ですね。

先日、皆様に今期で私の退任の意向をお伝えしたところですが、返信ハガキに「無記名で結構です」ということで返信をお願いいたしましたところ、様々なコメントを頂きました。また、労いの優しいお言葉もありがとうございました。誰の名前を記入して良いか分からないとの返信もあり、その場合は白紙で良いということをお申し添えなかったことをお詫びいたします。自分の生き方を含めて熟慮して決断をいたしました。この結果が、どの様なものでもマイナスではなく、プラスになっていくことと信じております。

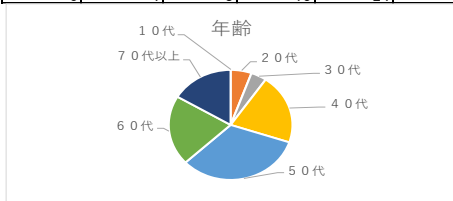
スピーチマラソンも今年は形を変えて、障がい当事者講師養成講座修了生のPR講演会と一緒に開催されることになり、体制も一段と確立されて参りました。運営委員長の寺地さんから「皆さん、来年もまたお会いすることを楽しみにしています」とボランティアさんや運営スタッフへの言葉も頼もしく感じました。

今期残すところあと半年ですが、それまで変わらずに「すぷりんぐ愛」を注ぎながら活動いたします。皆様も、体に気を付けてお元気でお過ごしください。代表は退任しても、皆様とのご縁が終わるわけではありませぬので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

# 第4回スピーチマラソン アンケート集計

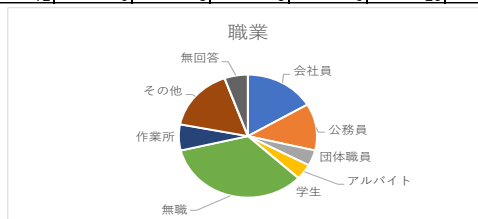
## 1. 年齢

10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
0	4	3	15	24	15	12



## 2. 職業

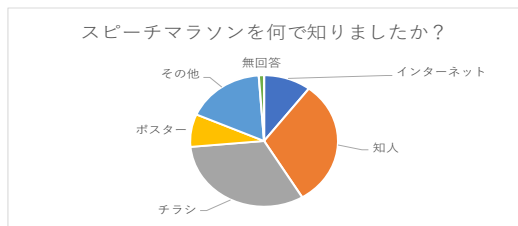
会社員	公務員	団体職員	アルバイト	学生	無職	作業所	その他	無回答
12	9	3	3	0	25	5	12	4



その他の内訳は、社会福祉士、医療系パート、自営(2名)、民生児童委員、主婦(2名)がおりました。

## 3. スピーチマラソンを何で知りましたか？

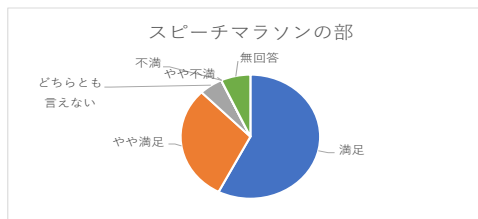
インターネット	知人	チラシ	ポスター	その他	無回答
9	27	28	7	15	1



※インターネットの回答の中にはフェイスブックの回答もありました。  
 その他、東区社協、すぶりんぐ会報、地下鉄掲示板、社協たより、フェイスブック、職場、  
 障がい者講師養成講座(2名)、民生委員の定例会(2名)、ときめき大学(2名)、妻  
 ※余談ですが、札幌市社協(まもりん)のツイッターにも「スピーチマラソン」の告知されていました！！

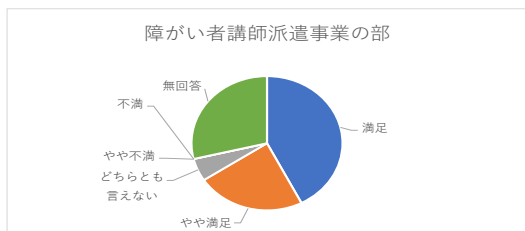
## 4. ①スピーチマラソンの部

満足	やや満足	どちらとも書えない	やや不満	不満	無回答
42	22	4	0	0	5



## 4. ②障がい者講師派遣事業の部

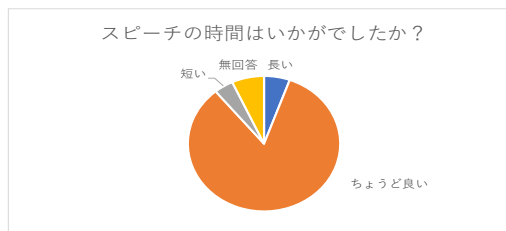
満足	やや満足	どちらとも書えない	やや不満	不満	無回答
31	17	4	0	0	21



他にも、聞いてない(2名)、14:20~参加したため、途中離席の回答もありました。

## 5. 講師一人のスピーチの時間はいかがでしたか？

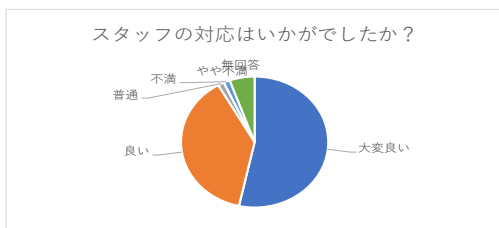
長い	ちょうど良い	短い	無回答
4	61	3	5



ちょうどいい回答の中には、2部しか聴かなかった、個人差があつて良かったのお言葉がありました。  
 短い回答にも、そう感じるくらいにどの方の話も、もう少し聴いていたかったのご意見もありました。

## 6. スタッフの対応はいかがでしたか？

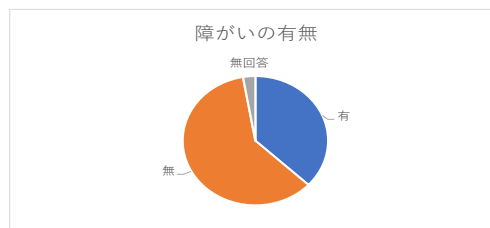
大変良い	良い	普通	やや不満	不満	無回答
39	28	1	0	1	4



残念ながら、不満の回答で、騒がしくしていた。との回答がありました。

## 7. 障がいの有無

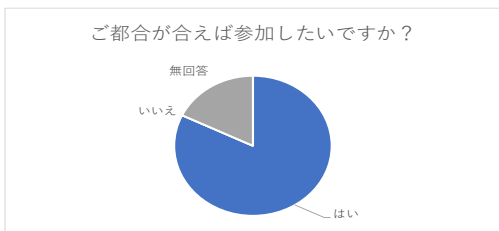
有	無	無回答
27	44	2



障がい種類の内訳は、線維筋痛症(2名)、かんせん性関節炎、仙腸関節痛、橋本病、  
 事故の後遺症、視覚障がい(3名)、精神障がい(2名、内1名が3級)、肢体不自由(3名)、  
 ASD/自閉スペクトラム症(3名)、ADHD/注意欠如・多動症(3名、内1名が娘さん)、うつ病、  
 知的障害(2名、内1名が軽度知的障害)、身体(1級、2級、5級)、発達障害(2名)、聴覚障がい  
 統合失調症、双極性障害  
 ※アスペルガー症候群は、集計の都合上、  
 自閉スペクトラム症の人数にカウントさせて頂きました。何卒、ご了承ください。  
 その他、障がいをお持ちでない方の中には、過去にうつ病(不眠症)、肢体障害者の方もいらっしゃいました。

## 8. ご都合が合えば参加したいですか？

はい	いいえ	無回答
60	0	13



## 一番印象に残っているスピーカーのお言葉はありますか？

香害
現代のカナリア(2名)
視覚障がいの方の山科さんが実演をしながら語られた、SOSのサインをしている人が見かけたら助けてあげてください。という言葉です。是非、自分も見かけたら声をかけたいと思います。
最終スピーカーさんの前川さんの『福祉サービスに頼らずに生きて行く』決意
沢山あり、一言とはいいきれない。全て貴重な言葉ばかりでした。
小林睦男さん。14歳でこの世を去ってしまった、私の同級生のことを思い出しました。
佐々木正好さん。「差別なき平等〜」。どのようにすれば良いのだろうか…というのを感じました。
栄養の中で大切なのは鉄分
前川絵里華さんのスピーチ(2名)
化学物質過敏症の方のご苦勞がよくわかりました。また、最後の女性の「前例がない」と周りから言われたというお話はとっても考えさせられました。
前向きな生き方、「今日が残りの人生最初の日」(7名)
目標が大事。できることをうばわず。サポートしてほしい。
食べ物が精神疾患に大きくかかわる。
戸田さん〜明日が保証されていないことを知った
前川さん〜理解のない人もいる…そんな人とは付き合わなくていい。周りには他に協力してくれる人がいる。いつも当事者の方々のお話には考えさせられます。今日は佐々木さんの「訴えを生き方の参考に」でした。
“前例がない”(5名)自分にも口にすることもあり、反省されました。知らないだけ(「知ろうとしないだけかも」)
何か困っていることがあれば相談することが必要。障がい事業所や相談事業所など
皆さん、それぞれ素晴らしい発表でした。
化学物質過敏症は、様々な条件により症状が出るのだということを再認識しました。中々難しい問題だと考えさせられました。
化学物質過敏症で学校に行けない子供がたくさんいること
筋ジストロフィーの方の前向きな考え方がすばらしいと思った。
笑顔、悪口を言わない、感謝、できる仕事があるのになぜやめなければならないのか
独居障がい者が、災害の時困らない為に日頃からご近所に要支援者が住んでいることをアピールする大切さ
坂江稔さんのお話を聞いていて、事故により人生が大きく変わり…ここまでくるまで大変な努力をご苦勞だっただろうな…を感じました。
これは選べない。全員印象に残っています。全員からすさまじいオーラを感じました。その人それぞれの強さが目立っていました。
白杖を上あげた時はSOS→知らなかったです
知らない事で差別が起こる→知ってもらう事が大切である
近所に要介護者がいることを知ってもらう事が近所づきあいの第一歩！！がんばってネ！！
皆様方のそれぞれの努力に頭が下がります。
障害者とサポートする側がともに安心して過ごせる世界を考えたい
たくさんありすぎて思い出せないが、おしゃれでもして外に出ておいしいものをたべて閉じこもらないよう
小林睦男さんの前向きなスピーチに勇気をいただきました。「ありがとうの気持ちを持って感謝をして生きて行く」という言葉に“感謝”という思いが、幸せに生きていくことにかかせないのだと実感しました。
大川みゆきさんの化学物質過敏症。(2名)
畠山忠さんのうつ病についていろいろ考えさせられた。
障害があっても無くても戸田さんの。
山科氏による「白杖の合図(白杖のSOSのサイン)」(2名)
令和元年度講習修了生は勇者たち「ここにいる人は勇者だ」
大家さんに家に入ってこられた方…(障害者はよだれをたらし…などは偏見)
障がいは自分の一部分にすぎないということ。
頑張らないことを頑張る。
今日が1日の始まり、ていねいに1日を楽しんで過ごす。パラ・パワー・リフティング競技を応援したいと思いました。
一般就労、一人暮らしの方に人それぞれのライフスタイルに対応できるシステムを作りたいを思います。ガイドヘルパー、ヘルパー支援など。
午前中の部だけ参加させて頂きました。皆さん全員、訴えたい事を丁寧に話して下さいました。とてもわかりやすく、時間があっという間でした。
戸田雄也さんの2020東京出場を目指したい。ぜひ出場して好成績を勝ち取ってください。
戸田雄也さんの言葉(今日は最初の1日と思う事)
残りの人生を楽しみたい
戸田さんの始まりの日かな
安心して過ごせる
大川みゆきさんの身体・化学物質過敏症について、2009年に認定された。認知度が低く理解が得られない事による、精神的な苦しみと理解することの大切さを知ることが出来ました。災害避難所での対応についても課題であると知りました。

## どのような障がいをお持ちの方のお話を聴きたいですか？

発達障がいの方

アスペルガー、ADHD、うつ

発達障害の方の就労の工夫や大変さ。

ピアスタッフとして活動している方のお話など。

脳の病気にて障がいを持たれた方

視覚障がい者(特に盲導犬ユーザー)

精神障害の方が、どのようにモチベーションを保って生きていらっしゃるか(もちろん身体、知的の方も含め)

比較的軽度の障害程度の(身4～・療B(ハ)・精3)スピーカーだから出来るようなリアリティに富んだ生々しく、タブーの無き話。同じ障害者であろうと、3者の間との差を否が応でも感じてしまい、時にはリスナーによってヘイトを感じてしまう程のリアリティの基ついた話

内部障がいがある方の人間関係の克服方法の体験談をお持ちの方の話

聴覚障害の方々

たくさん種類の障がい。

どうして講師をすることに興味をもったのか、その辺りについてもっと詳しく話を聞いてみたい

聴覚に障がいのある方から手話通訳や文章で日常の不便など

知的障がい

今回のように様々な障がいの方の話を知りたい

知的障がいを伴わない発達障がい者の勤労の難しさ、具体的な体験の話。表向き障がい者雇用をうたっているが実際の現場では思ったより理解がなく苦労している体験や改善がなされたのか等の話

難病や精神障害について理解を深めたいので、お話を伺えたらと思います。

障がいというよりも、入所施設や精神科に入院していた人(現在そのような生活の方でも良いが)のその時の気持ちを聴きたいと思っています。

いろいろな立場の方のお話を聴いていただきたいです

発達障害。作業所で色んな障害者がいて職員は“多様性”とかいうが、こちらの利用者がこのことで悩んでいても私はこの事で困る人だとストレスがたまり事業所をやめたい為、他者理解むずかしい

知的障がい者について複数

うつ病の方がどのように克服したのか…というような社会復帰をした方の体験談をお聞きしたいです。

障がいの種類ではなく、向き合っ、前を見つめている人の話。

健常者と平等に扱われることを希む人の話。

精神障がい

高次脳機能障がい

難病、合併障害、発達障害、精神障害

聴覚に障がいのある方のお話。

全て

障がいではないけれどもLGBTの方やひきこもりの当事者の方

障害をお持ちの当事者の方のご家族のお話を聞きたいです。

世間一般にあまり知られていない障がいを持った方の話を聴きたいです。

自分を力強く言葉や考え方

パニック障がい

## 好評価の感想

今日はありがとうございました(3名)

今期の新しい講師の方々、障害特性がバラエティ(?)にとんでおり、各人のお話をもっと伺いたいと思いました。

本日はありがとうございました。大変参考になりました。

とても有意義なイベントでした。語りつくされた言葉かと思いますが、特に内部障がいを持っている方とそうではないと思生活している人々と何が違うのか?と思ったことです。もちろん傷病名がDr.より特定された人とそうでない人というところかと思いますが…今は中々理解されない方にも多くいると思いました。けれども「明けない夜はない」と言います。いつか、少しずつ社会は変化していくと信じています。頑張れ日本!

講師のみなさん、スタッフの皆さん、たいへんおつかれさまでした。

色々な障がいの方の話の聞き私にできることは何があらためて考えさせられました。今後も色々お話を聞けたらと思います。

講師の皆さんには、事前準備から本番まで、本当にお疲れ様でした。主催者、スタッフ、ボランティアの方々、ありがとうございました。

関係者の皆様、ご準備お疲れ様でした。これからも、どんどん、様々な機会、メディアで発信をして頂ければと思います。

食事とうつの話(畠山さん)のお話は、今の若い人(大学生や社会人なりたて~20代の人たち)にきいてもらいたいと思いました。

会場の空気感がものすごく良いです。職場では支援する人、障がいがある人というような上下関係が消えませんか。つかれます。ここにはまったくそれを感じませんでした。

秋の連休にもかかわらず、多数の参加者があります。もっともついろいろな所に講師の方が派遣される事を期待しています

手話の勉強をしているので、本日の手話通訳とっても勉強になりました。いつか手話通訳としてお手伝いできるように勉強を続けます

初めて参加しました。病気の種類の多さに驚きましたが、それに向かっていく勇気や頑張りを感じました。

会場で売られていたパンやクッキーがとても美味でした。ありがとうございました。

ボランティアの皆さん、おつかれさまでした。そして、市社協ボランティア活動センターの皆さん、おつかれさまでした。

障害のある皆さん前向きに明るく過ごしている姿に感動いたしました。なかなか多くの方々の思いを聞く機会がなかったのでも今日は私も前向きに福祉と言うものについて考えさせられる1日でした。

山科さんの白杖の話はとても良かったです。その場面にあった時には声をかけたいと思いました。

初めて聞きました。現実を見つめることのつらさを感じました。知る事は良かった。又聞きにくる(少し重たいけど)

障がい当事者本人の生の声は、やはりはく力は違いますね。思いがストレートに伝わってきました。“みんなちがってみんないい”そんな共生社会で楽しく生活できるといいなって心から思います。生の声を聞くことが出来てありがたい時間でした。お疲れ様でした。明日からまた元気でやりましょう♥

また次回も参加したい

ボランティアや各養成講座の案内チラシを沢山いただけて、参考になりました。色々な情報を得る、それを興味ありそうの方へ広める事なら私にもできるな—と思いました。「何か人の役に立ちたい」と思っている人は沢山いると思います。

行動にうつすきっかけさえあれば「これから学ぼう!」という気持ちになる人は大勢いると思います。さっぽろ市の広報や駅構内、多くの人目にとまる場所で案内活動をもっと多くの人にスピーカーさんの声を聞いてもらいたいなと感じました。本日はありがとうございました。

今回初めて参加させて頂きました。皆さんの前向きな考え方に沢山の元気を頂きまして、自分もひきこもることもなく、前向きにポジティブに一日一日を生きたい「そして笑顔で…」心がけています。今日参加できて良かったです。ありがとうございました。

自分の悩みに気づき、頑張る勇気を貰いました。ありがとうございました。

話し合い(中間の)は、生のその場の声をもっと聞きたかった。(修了生による)

スピーチマラソン、益々パワーアップしてきた印象を受けました。要約筆記はとても良かったです。

前半、知識を増やすお話が多かった中、坂江さんのお話は心に沁みってくるものがありました。



## 改善点の感想・意見

昼休みの時間が短かったため、一部休憩を被りお話を聞くことができず残念でした。案内のチラシに詳しい時間割を掲載していただければ良かった。

少し空調がきつく感じました。半袖だったもので…。

午後よりご拝聴しました。それを踏まえて、私は、皆様に、こんな事を問いかけたいです。ご自身の一生が美談となることをお望みなのでしょうか？痛み、苦しみ、恐怖、欲望、葛藤、憎悪。そんなあらゆる感情。そんな私たちが最も聞きたい、リアリティや共感がどこか感じることができませんでした。そう思ったと共に、スピーカーの皆様もどこか抑圧している部分があるのだろうか？とも感じました。非常に厳しい意見、どうかご容赦下さい。しかし、私を含めて、決して楽には生きてはいけないことをわかっているからこそ、リアルな気持ちを共感したかったです。

もっと多くの方にこのようなお話をきいていただけたらと思いました。

残念ながら、若い方の参加が少なかったように思います。運営者側だけでの努力では何と難しいところはあるのですが、少しでも多くの方々に参加いただけたら良いですね。

すぶりぐ活動紹介の際、マイクが小さく聞き取りづらく、スタッフさんの話声等で全然聞こえなかったのが残念だった。

後ろの席の人がずっと2人で話していて集中しづらかった。スピーチを聞きにきているという主旨なので、私語はひかえるようアナウンスしてほしい

動画を入れる場面で眼が見えないので解説を入れてほしい

スピーカーの音をもう少し高音にさせていただきたい。私だけかも知れませんが…聞き取りにくく感じました。

当事者本人からの声を聴く機会が今後も増えていく事を望みます

前半会場が少し涼しく思っていました

司会者と各人のプロフィールの部分が重なる部分が多いと感じた

お昼休みのランチタイムの時間が短すぎ、また短いことのアナウンスなども必要ではなかったか。(お昼を1Fのふらっとで食べようと思い、昼ご飯の用意をこななかったため)

それぞれの障害の方々が困った時、どの様な言葉、してほしい行動が良いのかおしえてほしい。

車イスの方など道でお手伝いしようとして声をかけると大じょうぶですと言われるとなんとなくショボンとしてしまいます。もう少しことわりかたもやわらかくと思う時があります

確かに一般の方に障がいを理解していただくことは大事なことで、これからも続けてもらいたい。それと並行して、どうすれば「課題が解決するのか？」も話し合ってもらいたい。我々「脳卒中者」は法律を制定するところまでいって、後、法律どおりいっくかどうかを今現在チェックしているところです。(法律を制定しても社会は変わらない)

一般の方には専門用語はあまり使わないようにしたほうが良いのでは？(ADHDとか)

令和元年度講習修了生の方の話をもう少しききたかった。

健常者に対して、外出時での気にしてほしいことなど、アピールしてはどうでしょうか？(危険な事など)

会場の扉を閉めて下さい。(雑音が多いため)

障害があっても、交通公共機関を移動(安全に)できるよう整備してほしいと思います。

要約筆記利用専門席の利用がなかったように思いますが、耳の不自由な人たちにも参加するようPRをすべきと感じました。

## ◆スピーチマラソン報告◆

### 全体報告～小林亮平さん

令和元年9月21日、第4回スピーチマラソンが開催されました。今回は1、2回目同様会場を社会福祉総合センターに戻しての開催となりましたが、開催時期を例年6月頃から9月に移しています。毎年夏にある障害者講師養成講座のラストを締めくくる、PR講演会も兼ねているからです。今回のスピーチマラソンの来場者数は200人で、ボランティアの総数は60人と増加傾向なのですが、見たところ車椅子の人の来場者数は減っていたように感じま



した。正面にステージがあり向かって左側に手話通訳さんがいて、その隣に要約筆記さんのスクリーンがあるのですが、要約筆記さんが手書きからタイプになっていました。



最後に、今回の報告書を書くに当たって SDGs について自分なりに調べていたのですが全く役に立たなかったのが、悔しいからコラムとして書かせて下さい。

#### 【コラム】

SDGs には 17 の目標があり、その元となっているのは 2000 年に国連のサミットで採択された MDGs/ミレニアム開発目標です。この頃の目標は 8 つですが、第二次世界大戦後にイギリスの経済学者ウィリアム・ヘヴァリッジが提出したヘヴァリッジ報告書というもので「貧困」「無知」「不潔」「失業」「疾病」が 5 悪として指摘されています。これは SDGs の目標にも同じようなものがありますし、MDGS にもあります。つまり、この 5 つが何より大事で我々が守るべき目標なのではないでしょうか？

参考文献：SDGs(持続可能な開発目標)とは何か？17の目標をわかりやすく解説 | 日本の取り組み事例あり

<https://miraimedia.asahi.com/sdgs-description/>



## ◆スピーチマラソン登壇者の感想◆

### Grassroots～Cs ネットワーク札幌～代表大川みゆきさん

テーマ：化学物質過敏症～カナリアの声～

「化学物質過敏症」と「※香害」についてお話させて頂きました。化学物質過敏症は 2009 年に病名登録されたばかりで認知度が低いため、理解が得られにくく日常生活を送ることもままならず、仕事ができない人や、学校に行く事ができない子供たちがたくさんいる現状を伝えたくお話しさせて頂きました。また、災害時の避難所の問題があることや、誰にでも発

症の可能性のあることを一人でも多くの方に知って頂けたらと思います。

知ってもらうことで予防や理解に繋がり、マイノリティが生きやすい社会になるキッカケの一つになれば嬉しいです。スピーチマラソンでお話させて頂いた経験を活かして、これからも啓発活動を続けていきたいと思っています。本当にありがとうございました。

※香りの害と書いて「香害」

香害という公害が社会問題になっています。

=====

## 前川絵里華さん

もう何年も前に当事者講師養成講座を修了していたのですが、今年初めてスピーチマラソンで講和する機会をいただきました。

私が話してみようと思ったのは、この札幌で障害者が生活していく中で起こっている現状を、たくさんの事例の一つとして皆さんに知ってもらえたらと思ったからです。実は、一般就労の事例としては、札幌市のホームページで紹介していただいています。なので今回は、仕事以外の生活についてお話しさせていただきました。「前例がない」をテーマに、あったことをそのままお話しさせていただきましたのですが、終了後にたくさんの方々に「感動したよ」「頑張ってるね」などと声をかけていただき、皆さんからたくさんのパワーをいただきました。また、アンケートでもたくさんの反響があり嬉しい限りでした。

これからもたくさんの困難が待ち受けていると思いますが、「一人じゃない、仲間がいる」を支えに、これからも頑張っていきたいと思っています。

=====

## ◆スピーチマラソンボランティアさんの感想

### 札幌山の手高校 2年 伊藤美穂さん

初ボランティア スピーチマラソンを終えて…

私たちは、今回スピーチマラソンボランティアに初めて参加しました。初めてということで、私たちもわからないことだらけでしたが、先生も初めての活動とのことでなかなか多くのことが見えないままでの出発でした。だから、不安がたくさんありました。

障がいがある方とのボランティアは今まででも行ったことがあり、「さまざまな身体的ハンデを私たちがカバーしなきゃ！」と、どこかで意気込んで勝手にプレッシャーを感じていた部分もありました。しかし、当日ほかのボランティアの方や主催者の職員の方々はとても優しく、すごく親切だったので、すぐに不安はなくなりました。

私たちが行う主な仕事は会場設営で、「こんな程度のお手伝いでいいの?!」と思うものですが、たくさんの方に笑顔で「ありがとう!」「助かるよ!」「さすが若いね!」などと声をかけていただいたことに嬉しく、本当に感激しました。貴重な体験をさせていただきありがとうございました。いただいた絵ハガキも大切にします!





## ◆北海道福祉のまちづくり賞すぷりんぐが受賞◆

この度すぷりんぐは、「北海道福祉のまちづくり賞 活動部門」を受賞しました。

北海道では北海道福祉のまちづくり条例（平成9年北海道条例第65号）を制定し、障がいのある人もない人も、お年寄りも子どもも、だれもが住みよい地域社会づくりを道民全体で進めていくことを目指しています。

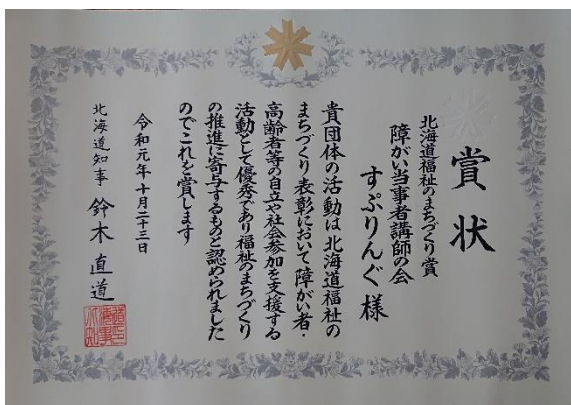
このような取組を一層進めるために、福祉的配慮に優れた公共的施設等、障がい者・高齢者等を支援するための活動及び福祉用具を表彰しています。

皆さんの協力で活動を続けて来たことが評価され、嬉しいですね。

今までのご協力とご支援に心から感謝いたします。

表彰式がホテルポールスター札幌 2019年10月23日に行われました。

活動部門は、ボランティアグループ「ムービー北海道」様（聴覚障がい者の方への映画字幕作成）、認定特定非営利活動法人函館視覚障がい者図書館様の3団体が受賞しました。



## ◆映画紹介◆

「道草」

自閉症と重度の知的障がいがあり、自傷他傷といった行動障がいのある人。世間との間に線を引かれ、囲いの中へと隔てられた。そんな世界の閉塞を軽やかなステップが突き破る。

2019, 12. 8 (日) 北星学園大学 C棟

①バリアフリー上映 開場 12:30 上映 13:00 7階 c700 教室

②ホール上映 開場 15:30 上映 16:00 1階 50周年記念ホール

一般 1000円 学生 500円 (高校生まで無料)

主催 映画「道草」SAPPORO 上映会実行委員会

お問い合わせ 医療法人稲生会代表 011-685-2799

## ◆タレント募集のお知らせ◆

スピーチマラソン映像ボランティアをしてくださっていた、夕張フィルムコミッションの高橋さんが運営している障がいのある人のタレント事務所「ケセランパセラン」で、タレント登録募集してます。興味のかる方は下記のサイトにお問い合わせください。

<http://ケセランパセラン.com/index.html>

## ◆バリアフリーイベントのお知らせ◆

あなたが主役!! バリアフリー LIVE 誰でも参加可能なユニバーサルな空間へ  
～東京五輪音頭2020を踊ってみよう♪ がんばる君が好き を手話で歌ってみよう～  
2019. 11. 30 (土) ザ ルーテルホテル 中央区大通り西6丁目  
日本舞踊や笑いヨガの LAIV  
北海道でヘルプマークを広げよう 真っ赤なマークを知ってっ会 寺地恵子 出演予定  
全席自由 2000円 ペアチケット 3500円  
お問い合わせ みらいねっと 080-4042-3434 (大寺)

## ◆◆◆◆◆事業部からのお知らせ◆◆◆◆◆

## ◆忘年会 & 祝賀会のお知らせ◆

**すぷりんぐが 北海道福祉のまちづくり賞 活動部門を受賞しました!!**

会員さん一人一人がご協力くださって活動を続けてきた成果です。嬉しい限りです。  
そこで今年は、忘年会を兼ねて、祝賀会を行います。

日時 2019年11月24日(日) 12:30～15:30

場所 中央区北2条西2丁目 STV北2条ビル 1階

会費 2000円 飲み物は各自持参でお願いします(もちろんアルコールOKです)

\*昼食、菓子、おつまみ等 準備します。\*ゲーム、景品なども企画中です。



**出欠の連絡は河口 誠さんまで 090-3779-3010 11/14までをお願いします。**

**欠席の方でメッセージを頂ける方は**

メールアドレス [spring.hokkaido@gmail.com](mailto:spring.hokkaido@gmail.com) fax 011-895-2585 (寺地)、その他郵送は〒063-0804 札幌市西区二十四軒四条三丁目 1-12-603 牧野まで

あたたかな手作りの会をみんなで楽しみましょう

\*会場設営などのお手伝いして頂けたら助かります。ご都合つくか方は 12:00 にお集まりくださ

い。

## ◆すぷりんぐ 次期代表の選出 中間報告について◆

この度、会員の皆様には、次期代表選出にあたりご協力いただきありがとうございました。10月19日の茶話会の席（出席者14名）にて中間報告がありましたので、ご報告いたします。返信ハガキは38枚を頂きました。

自薦の方 0

他薦の方 8名（三井氏、山科氏、山本文子氏、我妻武氏、木村裕明氏、今田氏、佐々木正好氏、代表に一任、寺地 順不同）

いずれも過半数には達しておらず、それぞれの事情もあり候補者には代表は無理という方もいます。また14名の出席者の中で、今後のすぷりんぐの方向性について話し合い、2020年度以降の活動内容や役員体制についても見直す時期ではないかとの意見もありました。また、詳細はお知らせいたしますが総会を経て皆様の承認を頂き決定とします。よろしく願い申し上げます。北海道福祉のまちづくり賞受賞の際の総評で「今後の活動の将来性を期待する」というお言葉も頂きましたのでそれも考慮していきたいと思えます。

### 《編集後記》

▼ラグビー！最後まで諦めない姿に感動しました。障がいを持ちながらも諦めないでチャレンジして乗り越えた人生の体験談を聞くと本当に胸が熱くなります。スピーチマラソン、本当にお疲れ様でした！（み）

障がい当事者講師の会 すぷりんぐ事務局 担当：寺地

〒063-0604 札幌市西区二十四軒4条3丁目1-12-603（牧野宅）

TEL 011-895-2585（寺地） FAX 011-644-0334

■電話での問い合わせは個人宅ですので、常識の範囲内の時間帯にかけることと長電話はご遠慮下さるよう、よろしくおねがいいたします。

ホームページ <http://spring-hokkaido.jimdo.com/>

フェイスブック <https://www.facebook.com/spring2013hokkaido>

メールアドレス [spring.hokkaido@gmail.com](mailto:spring.hokkaido@gmail.com)（H29.5.1より変更になりました）



■障がい当事者講師の会すぷりんぐのホームページでは、新しい情報も次々にUPしています。どうぞご覧下さい。（HP, FB 管理担当 大谷哲也さん）

■今後、パソコンのメールアドレスをお持ちの方には、メールにて会報やご案内を送付させていただきます。経費の都合上ご理解ください。（どうしても紙面でなくてはいけない方は、お手数ですが事務局までご連絡ください）